



加古川発、 人がつむぐ ブランドストーリー

地元の食文化を守り、
未来へと発展させていく意気込み。
共生社会を目指し、
支援する人たちの温かく真剣な姿勢。
日常を大切に歩み続ける覚悟。
そんな加古川の「返礼品」の
背景をお届けします。

加古川市は兵庫県南部、
東播磨地方の中心部にあります。
播磨灘に面し、播磨平野を悠々と
流れる一級河川「加古川」。
その水の恵みを受けて暮らす人々の息吹と
共に発展してきた都市です。

KAKOGAWA KRAFT [カコガワクラフト]

加古川のクラフトマンシップに隠された
職人たちの『物語』を綴る冊子です。
本来はCRAFTですが、KAKOGAWAへの愛着をこめて、
Kの表記を用いてKRAFTと名付けています。

 加古川市役所 産業経済部 産業振興課 観光振興係

〒675-8501 兵庫県加古川市加古川町北在家2000
TEL:079-424-2190 FAX:079-424-1373



2026年1月発行

“かこがわ”を彩る職人たちの物語

KAKOGAWA KRAFT

2025 秋冬 VOL.8

特集 平之荘神社



THE BRAND STORY



映画にも使用された風格ある能舞台。



取材中の大西宮司さん。



神社所蔵の神輿に神標を乗せ、御旅所へ向かう高御座形式の神輿。



夏祭り輪踊り。



ブルキナファソ出身ダンサー ミロゴ・ベノアさんによる民族ダンス奉納。

なんと創建は奈良時代。 神さびる佇まい、播磨の古社 「平之荘神社」を訪ねて。

平之荘神社 (弊之宮)

〒675-1221 加古川市平荘町山角478
宮司：大西荘平 TEL.079-428-0073
加古川バイパス「加古川ランプ」より車で約15分
神姫バス「山角」下車すぐ



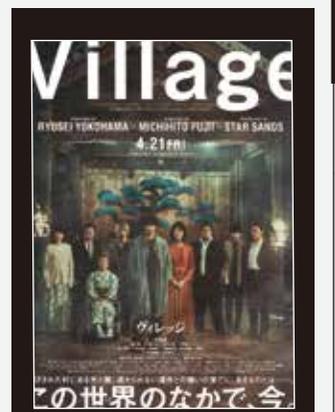
JR加古川駅からバスで20分ほど、平荘湖の近くに「平之荘神社」は鎮座しています。神社の創建は平安時代よりも古く、奈良時代の和銅6年(713年)にまでさかのぼり、西隣にある報恩寺の鎮守社として創建された古社です。播磨国守護の赤松則村公の庇護を受けて栄え、南北朝時代に作られた高御座形式の八角形の神輿が今に伝えられています。八角形の神輿は、現存しているものでは全国で二番目に古く、加古川市の有形文化財に指定されています。普段は神輿庫に収められていますが、秋の

例大祭では神輿渡御があり間近で見ることができます。秋祭りでは、神輿だけでなく、獅子舞や屋台練り、鼻高と呼ぶ天狗のような鼻の高い面をかぶった舞などもあり、とても賑わうそうです。現在の本殿は、江戸時代の1648年に建てられたもの。年月をたたえた風格に、自然と手を合わせたくくなります。茅の輪くぐりは、夏越の祓のときに行われるところが多いのですが、平之荘神社では、12月14日から1月15日までの年越しの祓に行われます。全国にも珍しい風習を大切に受け継いでいます。



映画『Village』のロケ地として、一躍、人気に。

2023年4月に劇場公開された映画『ヴィレッジ』は、「村(ヴィレッジ)」という閉ざされた社会を舞台に、横浜流星さんが「閑落ち」する姿が話題に。黒木華さんや古田新太さん、中村獅童さんらのキャストが居並ぶ迫力のポスタービジュアルは、平之荘神社の能舞台で撮影されました。能舞台は江戸時代の1688年に建てられ古色蒼然とした趣があります。映画の求める雰囲気にとりつき、スタッフが惚れ込んだそうです。



(C)2023「ヴィレッジ」製作委員会

映画の公開から、聖地として注目を集めるようになり、今ではウェザーニュースの人気初詣ランキングでも上位にランクインされています。社務所では、主演の横浜流星さんと黒木華さんをイメージしたお守りも授与しています。



番氏子町内による獅子舞演舞。氏子町内12地区の特色がある。

カコガワクラフト『かこがわ』を彩る人と場所



神戸弘徳学園高校プラスバンド部による演奏。



秋祭り3氏子町内のうち2屋台の様子。



国恩祭(こくおんさい)神事に向かう神職。11年に一度、国家安寧地域繁栄を願う神事。



成長健康祈願をする「稚児行列」。

▶ お客さまに寄り添う、機能とクオリティのあくなき追求



靴下を縫う特殊な機械。



ネット商品を実際に手に取れる〈なえしよぶ〉は本社2F。



〈なえしよぶ〉でしか購入できない限定商品もあります！

KAKOGAWA BRAND STORY

01

トモエ繊維株式会社
代表取締役 森本 勝弘

住所：加古川市志方町永室170番地
TEL：079-452-2035
URL：http://tomoeseni.co.jp

「お客さまの喜びを肌で感じたい」と
〈なえしよぶ〉店長の春名友理さん



前列中央が社長の森本勝弘さん。機能性に優れたオリジナル商品はすべて勝弘さんのアイデアとこだわりから生まれています。



お客さまに喜ばれる商品を、「那衣」へのこだわり

季節に応じて変幻自在に、着る人を守りぬく衣。それを仏典では「那衣」という。そんな「那衣への挑戦」を理念に、寒さや乾燥から守り、「美と健康」をテーマとするオリジナル商品を提案しています。と〈なえしよぶ〉店長の友理さん。

トモエ繊維は、もとは有名メーカーからの受注生産がすべて。でも、それではお客さまに寄り添うことができません。そこで父で社長の勝弘さんは、お客さまに喜ばれる商品の開発に着手したそうです。『あったか足湯ソックス』をはじめ、強力消臭靴下『男の消臭・女の消臭』シリーズ、椿油配合で保湿効果抜群のかかとカバー『tubaki』など。優れた機能の商品は、五つ星ひょうごや神戸セレクション8にも選定され、特許も20以上取得しています。

歩くだけでぽかぽか「あったか足湯ソックス」

一番人気の『あったか足湯ソックス』は、「冬にフローリングの部屋で、スリッパなしでも快適に過ごせる靴下を作りたい」が発想の原点なのだとか。通常の約4倍の厚さで、空気の層がふんわり包み込み体温を逃がしません。特に冷える足先、足の甲、アキレス腱、くるぶしに「吸湿発熱繊維」を使用。汗の湿気でさらに発熱してぽかぽかに。スリッパ代わりになるよう、足裏には滑り止め加工も。この滑り止め樹脂には、床からの冷気を遮断する真空の極小球体を混ぜ込んでいるので、歩くときとの摩擦でさらにぽかぽかに。履いていると足湯につかっているようにぽかぽかしてくるなんて。冬の寒いキッチンやデスクワーク、足先が冷える方やお年寄りの方にもぴったりですね。

ホンマものの消臭靴下を作りたい！

抗菌・消臭をうたっている商品はたくさんあります。でも、「効果はあるの？」と思ったことはありませんか。

効果のあるものを作るには、コストがかかってしまう。勝弘さんは、そのコストを度外視。「ホンマものの消臭靴下を作りたい！」と構想から1年以上かけて納得のいく商

品を開発しました。表糸は、天然セラミックを練り込み臭いを脱臭する「活性綿」。裏糸もアンモニアを分解する繊維を使用。汗を吸い取って逃がし、菌の増殖も抑制。嫌な臭いを防ぎます。「一日ブーツを履いても、足が臭わない」というお客様の声も。

手にとって、その良さを実感してほしいから

ネットショップの〈なえしよぶ〉楽天市場と、リアル店舗の〈なえしよぶ〉は、若手スタッフ2名で運営しています。

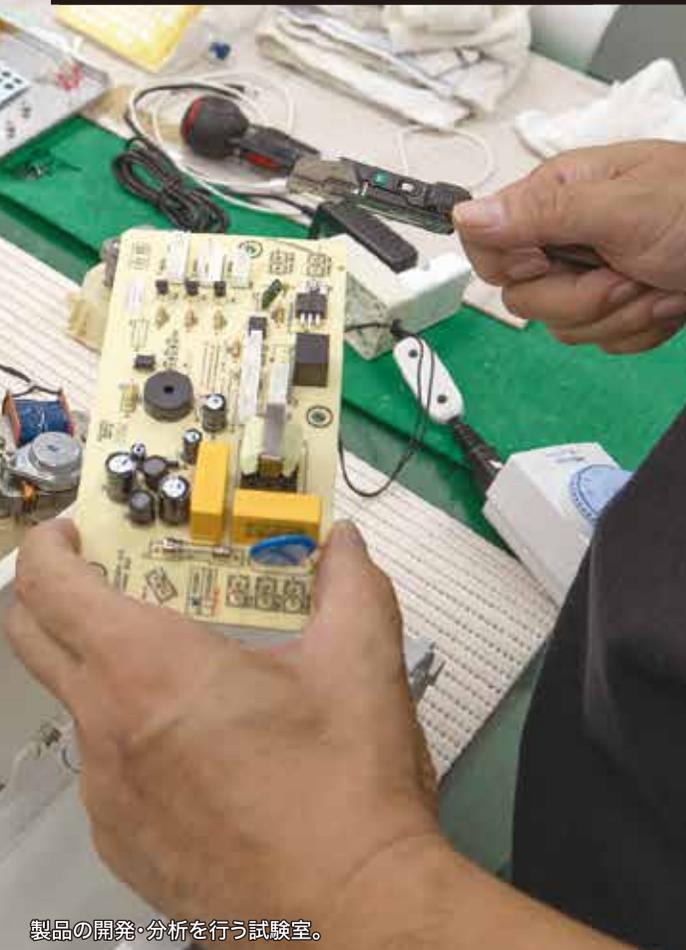
クオリティを追求したオリジナル商品は、一度使って「良さ」を実感してもらおうとリピーターになるお客さまは多いけれど、ネットショップでは手に取ってもらえないため、最初の購入のハードルが高いのが悩みです、と友理さん。

そこで、加古川の「かわのまちマーケット」や加西市の「北条コネ」などのイベントに出店。若い人からも気に入ってもらえインスタのフォロワーも7倍近くまで伸びたそう。これからは、お客さまと直に交流できるイベントへの出店を増やしていくつもりです、と意気込みを語ってくれました。



(左上)機能に応じた多彩な糸を組み合わせる。(右上)カラーチャートのような靴下の編み上げ見本。(左下)特許を20以上取得の実力!(右下)工場も併設した本社。

二人の出会いから、UKI MONOLUCKは始まった



ハイパワーが頼もしい衣類乾燥除湿機の主力DDA10。



ウォーターボトル Monom.



air dryer DDS03は、コンパクトで使いやすい。

KAKOGAWA BRAND STORY

02

UKI MONOLUCK株式会社

代表取締役 梶浦 文欣

住所：加古川市八幡町野村166-1

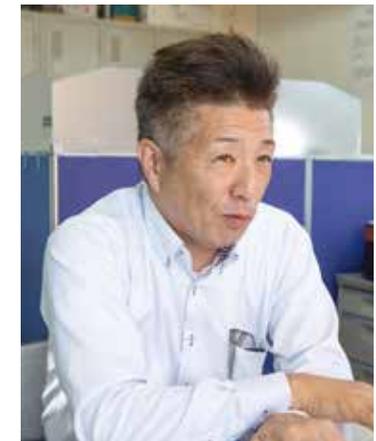
TEL：079-441-9643

URL：https://www.monoluck.co.jp

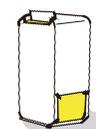
ものらつく

ゆうき

「榎との出会いがすべて。彼に頼りっぱなしですよ」と語る梶浦社長。



まだ7年目の会社ですが、だからこそ新しい挑戦ができる。オリジナル製品を企画から製造・販売まで一貫させるを目指し、二人の挑戦は続きます。



「モノづくりへの挑戦」が二人を結びつけた

社長の梶浦さんは、親会社のユウキ産業の社長でもあります。ユウキ産業は、家電メーカーなどの求めに応じ金型から成形、組立までを担うメーカーとして発展。中国・ベトナムにもグループ会社を持ち確固たる地歩を築いています。しかし、と梶浦社長は言います。「この先、OEM(製造委託)商品を提供するだけでは、いずれ行き詰まる」との思いがあったそうです。梶浦社長は、将来に向けて新たな一手を模索し、新しい発想のできる人材を求めています。

一方、某大手家電メーカーで長らく品質管理を担当していた榎さんは、「自由にモノづくりのできる活躍の場」を求めています。目指す方向が同じ二人は、出会うべくして出会ったのです。年齢も同じ二人は意気投合。「社長、これからはEC販売ですよ」という榎さんのひとことで、進むべき方向が決まりました。EC販売を手掛けることで、これまでとは異なる市場とつながりができる。販売ルートを複数持つことが、将来的に親会社のユウキ産業を助けることになる、と梶浦社長は確信したそうです。そうして2018年に、UKI MONOLUCKが旗揚げをしました。

国内No.1の除湿能力を誇る「air dryer」

まず目をつけたのが、衣類乾燥除湿機。降雪地域では、冬場、洗濯物を外干しできないため需要があると榎さんは見込みました。除湿機には、コンプレッサー式とデシカント式があります。コンプレッサー式は空気を冷やしながらか除湿するため冬には除湿能力が著しく落ちます。

目指したのは、冬にも強いデシカント式のハイパワー衣類乾燥除湿機。除湿機の世界市場でトップクラスの台湾メーカーと榎さんは付き合いがありました。ただし、日本市場は安全性に対する基準が違います。榎さんは品質管理のエキスパート。日本の安全基準をクリアできるよう設計段階から参画し共同開発。そうして誕生したのが、国内

No.1の除湿能力を誇る「air dryer」です。

季節を問わず一年中、パワフルなスピード乾燥を実現。夜干しでも朝までにしっかり乾燥できます。さらに、イオン発生器を搭載。部屋干し時のイヤなニオイも防いで除湿できます。また、設置面積がわずかA4サイズのコンパクトさ。しかも軽量なので、持ち運びも楽。パワーだけでなく、使いやすさまでデザインされています。

生活に役立つもの、新しくワクワクするものを

他にもワンタッチでボトル内部を除菌できるUV除菌タンブラーやスマホスタンドにもなるウォーターボトルなど。そのひと工夫がうれしい商品をラインナップ。いずれもコンセプトは「生活に役立つ、ワクワクするもの」。

夢は、設計から製造、販売までを一貫して自分たちで手掛けること。「いつかUKI MONOLUCKがユウキ産業を助けてくれる存在になると信じています」と梶浦社長。将来を見据えて互いを信頼する二人の挑戦が楽しみです。



(左上)新しいチャレンジは、ここから。(右上)ECサイトでは、ウォールマグタンブラーなどおしゃれな雑貨も。(左下)「自分で何かを起こす楽しみは尽きません」と榎さん。(右下)品質管理には手を抜きません。

▶ 百年続いた美味しさへのこだわりを、これからも



鉄板で押さえずに焼くから、身がふわっとして美味しい。



創業以来、継ぎ足して使う特製のタレ。穴子のうまみが凝縮されている。



焼きあがったら、桶で休ませ、味をなじませる。

KAKOGAWA BRAND STORY

03

有限会社 下村正之商店

代表取締役 卜部 友貴

住所：加古川市加古川町篠原町21-8

《加古川駅前店》

TEL：079-422-2278

URL：http://www.anago-simomura.jp

「ええ穴子にこだわって、美味しく焼きあげる。それだけです」と社長の卜部さん。



縁起の良い夫婦串は贈答品としての人気も高く、ご注文いただいてもお断りせざるを得ないこともあるとか。ひたすらに美味しさにこだわる老舗の矜持を守り続けています。

2尾5本串だから、身はふわっ、皮はぱりっの美味しさに

店に入ると穴子の香ばしくタレのからんだ美味しそうな匂いが、ちょうど焼きたてを桶で冷ましていたところでした。「毎朝、遅くとも6時頃から、繁忙期には5時前から焼き始めるんですよ」と社長の卜部さん。

明治8年に高砂で創業。3代目の祖父、下村正之さんが暖簾分けを受け、昭和32年に加古川駅前到店を構えました。創業からすでに150年。受け継いできた味と技を守り続けています。

「下村の焼あなご」は、天然の真穴子の一級品にこだわり、2尾の穴子に5本の串を刺し、身が縮まないよう皮目から焼きあげるのが特長。鉄板で押さえて焼くのが一般的ですが、それでは身が固くなる。腹開きにした穴子の繊細な身と皮のわずかな間に串を打って焼くため、身がふわっとやわらかく、皮がぱりっと香ばしい。串打ちは熟練の技。習得に5年はかかるといいます。特製のタレは、濃い口と淡口しょうゆ、みりん、酒、三温糖のみ。普通のタレの材料と変わりませんが、継ぎ足して使っているタレには穴子のうまみがたっぷり沁み込んでいます。「宝ですね」と卜部さんは目を細めます。「奇をてらったことをしているわけではありません。活きのよい穴子の美味しさを引き出すように焼きあげる。ただそれだけです」と。ふっくらとした焼あなごは、香ばしく歯ごたえがありタレの風味が絡んで、思わず笑みのこぼれる逸品です。

天然の穴子にこだわり、良い品だけを

播磨灘は豊かな海として知られています。四季を問わず美味しい穴子は、天皇にも献上されていたほど。「昔はいくらでも獲れたんですよ。前もん言うてね」目の前の海で獲れる魚介を「前もん」と言うそうです。なかでも穴子はいくらでも獲れ、一日に千匹焼いていたことも。ところが近年、「前もんの穴子」がほとんど姿を消してしまいました。海水温の

上昇など様々な要因が指摘されています。「私共が求める大きさの穴子が獲れなくなってしまったんです」と卜部さん。そうしたなかで、「ええもん」にこだわることを第一に。今は、長崎対馬沖の浅瀬と韓国で獲れる天然の真穴子を厳選して仕入れているそうです。

謡曲「高砂」にちなんだ縁起のよい夫婦2串刺しが喜ばれて。

2尾を1串に刺す夫婦串は、祝い事に謡われる謡曲『高砂』の尉と姥にちなんで夫婦仲良きことを表し「縁起のよい焼あなご」として重宝されています。

進物用には冷凍や真空パックが一般的ですが、どうしても風味が落ちてしまいます。穴子の美味しさを存分に味わっていただくために、冷蔵でお届けしています。焼きたての美味しさをと、遠方からもお買い求めに来られるお客さまも。取材中もご来店のお客さまが途絶えませんでした。最後におススメの食べ方を伺うと、「レンジで温めてわさび醤油でいただくのが一番」だそうです。



(左上) 加古川駅の目の前にある本店。(左下) 朝からお客さまの来店が途絶えない。(右) ショーケースには焼きたての美味しいそうな穴子串がずらり。遠方から買いに来られるお客さまも。



本誌でご紹介した事業者の返礼品



加古川の
おすすめ
スポット

クラフトマンたちが愛する
加古川の歴史や文化、
自然に触れて巡って、
加古川の魅力を再発見!

01

トモエ繊維株式会社

代表取締役 森本 勝弘

住所：加古川市志方町永室170番地
TEL：079-452-2035
IG：@naeshop_tomoe



あったか足湯ソックス ペアセット
22-24cm ベージュ1足
25-27cm チャコール1足

[内容]
通常の靴下より多く生地を編み込んで空気層を作り、体温を逃しません。「保温・吸湿」2種類の繊維使用で温かさを保ち、特に冷えを感じる部分に「吸湿発熱繊維」を使用。湿気を吸収することで発熱し、さらに温めます。優しい締め付け間で足を包み込んでフィット。スリッパいらずでこの温かさ、足底には滑り止め加工も。

02

UKI MONOLUCK株式会社

代表取締役 梶浦 丈欣

住所：加古川市八幡町野村166-1
TEL：079-441-9643
URL：https://www.monoluck.co.jp



衣類乾燥除湿機 air dryer DDA10
タンク容量約2.8L

[内容]
デシカント式衣類乾燥除湿機で9.3L/日(60Hz)。定格除湿能力を実現したパワフル衣類乾燥除湿機。イオン発生機(村田製作所のイオナイザー)を搭載、除菌・消臭・防カビ効果で、嫌な部屋干し臭を抑制。A4サイズ、6.7kgのコンパクト設計で、らくらく移動が可能。オートスイング機能で、約150度の範囲に乾燥した風を届けます。

03

有限会社 下村正之商店

代表取締役 卜部 友貴

住所：加古川市加古川町篠原町21-8
《加古川駅前店》
TEL：079-422-2278
URL：http://www.anago-simomura.jp



【焼あなご】
2~8串

[内容]
ふっくら焼き上がった天然穴子の旨味と創業以来継ぎ足し受け継がれてきた秘伝のたれの香ばしさで、100年以上全国で愛され続けている焼あなご。縁起の良い夫婦串(2尾1串)は、祝事の贈物にも最適です。

自然 権現ダム(ゴンゲンダム)



加古川市平荘町上原
加古川工業用水の安定供給を担っています。3つのダムからなり、周回道路の一部は「加古川右岸自転車道」としてサイクリングや散策に利用されています。秋には紅葉で色づいた山々とダム湖が見事な景観をつくりだします。

神社 厄除八幡宮(八幡神社)



加古川市八幡町野村580
和気清麻呂が境内で道鏡の追手に襲われたとき、一頭の大猪が現れ蹴散らしたという伝説から、厄除の大神として崇拝されるように。2月中旬の土日に行われる厄除大祭は播磨三大祭の一つで、数万人の参拝者でにぎわいます。

施設 加古川駅



加古川市加古川町篠原町30-1
三宮まで約30分の新快速も停車するJRの駅。明治21年に開業し、平成17年にリニューアル。構内の「加古川観光案内所」では、観光マップの配布、交通アクセスの紹介、フリーWi-Fiの提供など、観光案内の拠点となっています。

兵庫県加古川のいいものギュッと

